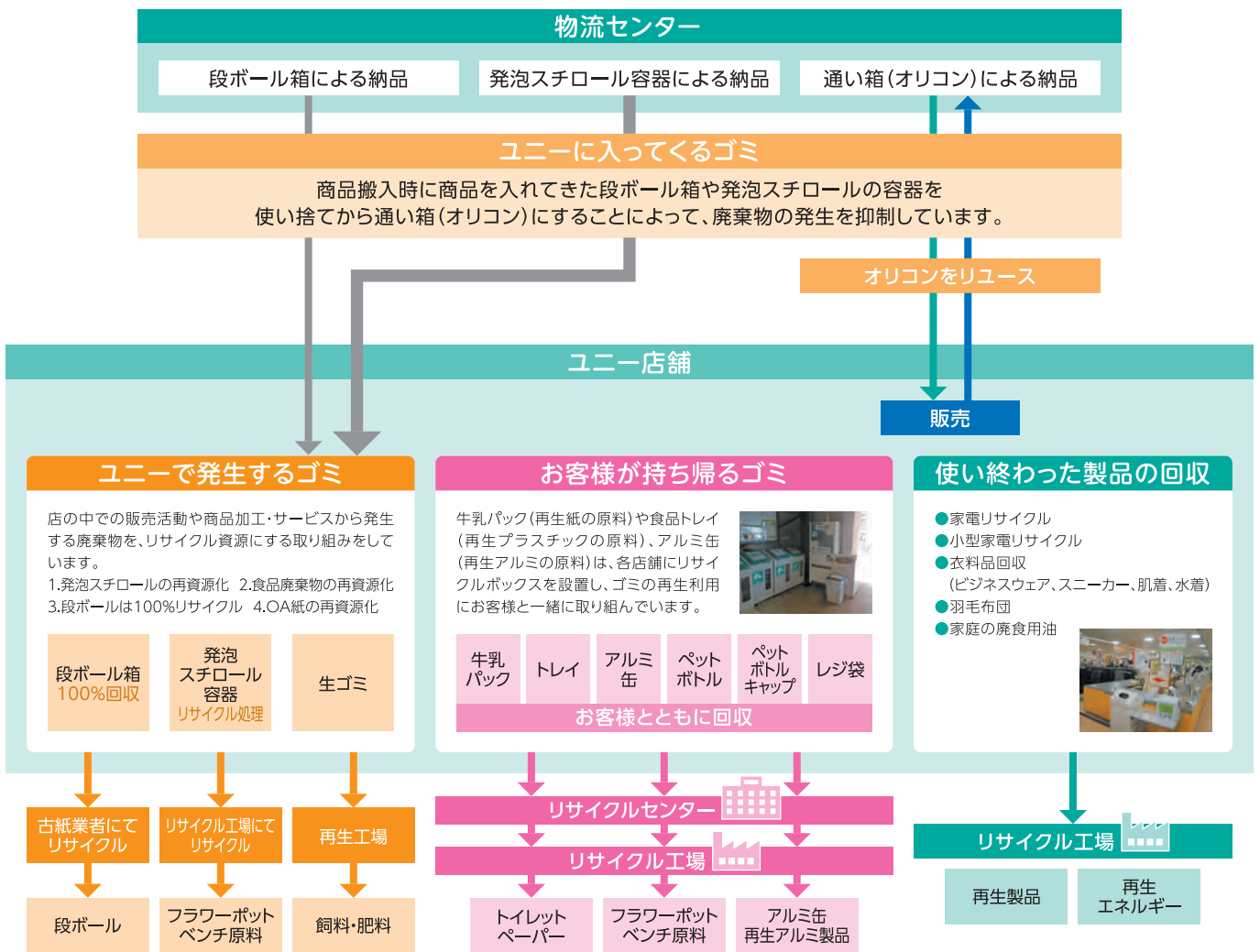


# 廃棄物を削減する取り組み

企業活動から発生する廃棄物をできるだけ削減するためには、廃棄物の発生場所や原因、種類などを正確に調べることが必要です。また発生した廃棄物を再生資源としてリサイクルするためには、適正な分別と保管が大切です。ユニーでは全店舗に廃棄物計量システムを導入し、直営売り場だけでなく専門店や共有部分から排出される廃棄物ごとに、排出場所・19種類に分別し計量しています。この活動により廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進しています。廃棄物を削減するためには店舗や家庭から排出されたゴミになる容器包装を削減したり、使用済みの容器包装を店頭回収してリサイクルしています。今後はお客様が使い終わった製品の回収に取り組み、お客様とともに廃棄物の削減とリサイクルに取り組んでいきます。

## 廃棄物削減のための取り組み



## 廃棄分別を徹底するために

ユニーでは廃棄物の分別計量は直営売り場だけでなく、入店されているコンセッションナリーや専門店など店舗から排出されるすべての廃棄物で行っています。廃棄物を削減し、資源として有効利用するために直営従業員・専門店従業員など関連している人たちに分別・計量の教育を定期的に行っています。



「ユニーのゴミ図鑑」と教育用DVD



専門店店長会議での分別教育

傘の輸送にオリコンを使用し段ボールを削減



バックヤードの廃棄物分別「ゴミステーション」

## ユニーで発生するゴミ

ユニーでは2003年度から順次店舗に廃棄物計量器を設置し、店舗から排出される全ての廃棄物を排出場所ごとに分別計量しています。排出場所(売り場、専門店、その他)ごとに管理することで排出責任を明確にし、廃棄物の発生要因を追求し発生抑制に努めています。排出された廃棄物は分別を徹底することで再生資源としての価値が上がり、リサイクルが進みます。

2016年度の廃棄物排出量は2015年度対比97.8%で2.2%削減しました。物流では商品の簡易包装と、傘の輸送にオリコンを使用するこ

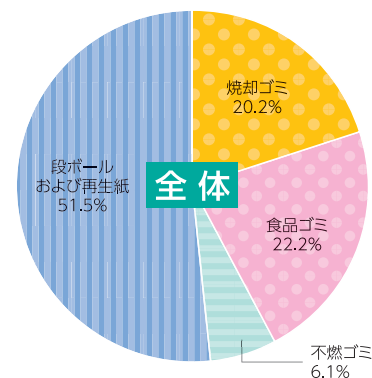
とで店舗から排出される段ボールを削減しました。また、店舗での商品加工からプロセスセンターでの商品加工が増加し、プロセスセンターで商品加工することにより歩留まりが高まり、生ゴミや魚のアラが削減されました。そして店舗では廃棄商品を削減するため、商品陳列量、見切りのタイミングを見直し、できるだけ商品が廃棄にならないように売り切っています。この結果可燃ゴミ、生ゴミ、ダンボールなどが削減されました。今後も継続的に廃棄物排出総量と焼却ゴミを削減し、2030年までのCO<sub>2</sub>削減目標の一環として廃棄物由来のCO<sub>2</sub>の発生抑制に努めます。

### ◆廃棄物排出量

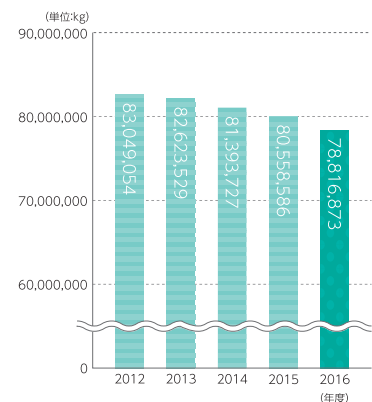
(単位:kg)

区分	種類	2014年度	2015年度	2016年度	前年比[%]	
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,990,222	12,086,549	11,879,030	98.3%
		ビニール(食品系)	4,053,758	4,084,461	4,061,951	99.4%
		小計	16,043,980	16,171,010	15,940,981	98.6%
	食品ゴミ	生ゴミ	13,981,999	13,722,833	13,226,350	96.4%
		魚のアラ	2,236,762	2,088,226	2,067,399	99.0%
		てんかす	964,119	981,157	961,169	98.0%
		廃食用油	1,249,435	1,233,678	1,198,550	97.2%
		小計	18,432,315	18,025,894	17,453,468	96.8%
不燃ゴミ	発泡スチロール	829,406	823,188	798,734	97.0%	
	プラスチック	439,724	428,814	422,856	98.6%	
	ビニール(衣、住系)	888,302	866,917	869,186	100.3%	
	ビン	1,223,503	1,395,634	1,474,210	105.6%	
	缶	470,864	446,920	442,294	99.0%	
	ペットボトル	378,632	415,764	450,734	108.4%	
	陶器・ガラス	107,877	107,794	104,517	97.0%	
	金属ゴミ	138,154	145,619	146,069	100.3%	
	その他	106,833	96,008	93,809	97.7%	
	小計	4,583,295	4,726,658	4,802,409	101.6%	
段ボール および 再生紙	段ボール	39,826,230	39,175,684	38,181,463	97.5%	
	紙類(再生可)	2,507,906	2,459,340	2,438,552	99.2%	
	小計	42,334,137	41,635,024	40,620,015	97.6%	
合計		81,393,727	80,558,586	78,816,873	97.8%	

### ◆廃棄物構成比率



### ◆廃棄物総排出量の推移



## 廃棄物計量システム



売り場では廃棄物を種類ごとに別々の容器に分けて入れます。混ぜてしまうとリサイクルできないので、容器に入れる時にきちんと分別します。



廃棄物は排出場所・種類ごとにバーコードで管理し、計量器に載せ、重量を計ります。



シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。



計量した廃棄物は、それぞれ温度管理された廃棄物庫で保管されます。腐敗しやすい食品廃棄物などは冷蔵保管されます。